



ごあいさつ

皆様におかれましては、益々ご繁栄のこととお喜び申し上げます。

日新信用金庫は、今年4月1日をもちまして発足満40年を迎えました。長きにわたり格別のご支援・ご愛顧を賜り心より厚くお礼申し上げます。

平成26年度の国内経済は消費増税に伴う駆け込み需要の反動や、天候不順の影響から個人消費や設備投資が落ち込み一部減速傾向も見られましたが、基調としては緩やかに回復いたしました。しかしながら、地域の経済を担っている中小企業の多くは、円安に伴うコスト負担の増加や人手不足の影響などで業況の改善に至っておらず、業種や企業間で格差が広がっています。

こうした中、当金庫の平成27年3月末預金残高は6,923億円となり、前期末比242億円の増加となりました。また、貸出金残高は、前期末比79億円増加し3,014億円となり、3期ぶりに3,000億円台を回復することができました。これは〈にっしん〉発足40周年記念商品を大勢のお客様にご利用いただいたお蔭であり、心から感謝申し上げます。

収益面では、全体的な金利水準の低下の影響を受け、貸出金などの利息収入は減少したうえに、しんきん共同センター移行に関連した費用などで経費は増加しましたが、有価証券売買益が寄与し増収・増益となり、当期純利益は1,188百万円計上することができました。自己資本比率については11.03%と経営の健全性は十分に確保しております。

平成27年5月には、これまで独自で運営していたオンラインシステムをしんきん共同センターのシステムに移行し、事業継続態勢の強化を図りました。移行後は通帳の切り替えなどでお手数をおかけしていますが、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年10月には、社会情勢の変化に伴い多様化する顧客ニーズにきめ細やかな対応ができるようにソリューション営業グループを発足させました。創業支援、成長支援、経営改善支援、事業承継支援など、お客様のライフステージに応じて発生する課題を解決するために、外部機関や外部専門家との連携をおこないつつ、本部と営業店が一体となって全力で取組んでいます。

地方創生、地域経済の活性化が求められる今、地域に密着し地域と共に歩む信用金庫の役割は一層増しています。

平成27年度は、「つなぐ力～地域と共に繁栄する信用金庫を目指して～」を掲げた中期3ヵ年計画の初年度であります。皆様に喜んでいただける金融サービスの提供や課題解決型金融に懸命に取り組み、「お役に立ち、信頼される信用金庫」を目指してまいります。

従来に増しまして皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成 27 年 7 月

理事長 和田 吉正